

みずほの教育

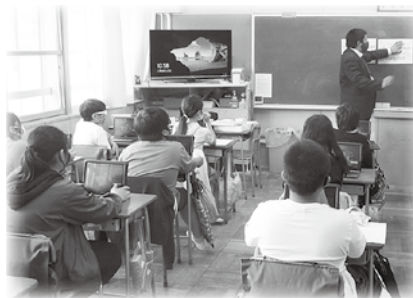
MIZUHO BOARD OF EDUCATION

令和3年(2021)6/1
第37号(年3回発行)
編集・発行: 瑞穂町教育委員会
〒190-1292 瑞穂町大字箱根ヶ崎2335
TEL 042-557-6682 FAX 042-557-2693
<https://www.town.mizuho.tokyo.jp/kyoikuiinkai/index.html>



人と人が かかわり合って 文化・教養をはぐくむまち みずほ

GIGAスクール構想^{注1}に基づくタブレット型パソコン(以下「GIGAパソコン」と言います)が4月に児童・生徒へ配布されました。初期設定で先生方や児童・生徒は大変な苦勞がありましたが順次解決し、授業等におけるGIGAパソコンの日常化を進めています。



GIGAスクール構想 & ウィズコロナの教育 がスタートしました

瑞穂町立小・中学校では、GIGAパソコン等を活用しながら以下のようなICT教育を推進していきます。



ハイブリッド授業*

コロナ禍で対面学習に支障が出ています。Web会議システムを活用するとGIGAパソコンの画面を通じて対話学習ができます。

学びに向かう力・人間性等

知識・技能

思考力・判断力・表現力等

ICT教育 = 情報活用能力 × 言語能力

各教科等を通じて、GIGAスクール構想を踏まえ、下記を実施

オンライン授業の実践

- ・ 平時にあってはWeb会議システムを用いた対話(班)学習等 **ハイブリッド授業の推進***
- ・ 長期臨時休業時5日目からのオンライン授業(小1・2:オンデマンド型、小3以上:リモート型)

プログラミング教育等

- ・ 二小の成果(R.12)
- ・ 二小の成果(R.12)を改めて生かす

デジタル教科書の活用

- ・ 全校全学年に配備(教師用)

大型モニターを活用

情報モラル教育の推進

一人1台のパソコンを普段から当たり前のように使う

- ・ 2つの視点から迫る ①個別最適な学び ②協働的な学び
- ・ 校内研究では、研究主題又は副題にICT教育に関する名称を位置付けて研究を展開
- ・ 町公立学校教育研究会とも連携

注1 国ではコロナ禍をきっかけとし、超スマート社会(Society 5.0)を生きる子どもたちに相応しい、誰一人取り残すことのないよう個別最適化され、創造性を育む学びの実現をするため、一人1台のタブレット型パソコンと学校における高速通信ネットワークを前倒して整備することにしました。これがいわゆるGIGAスクール構想です。

【問合せ】教育指導課指導係 ☎557-6694

みずほっ子目標

- み みずほを愛し 発展させるひと
- ず ずっと社会とかかわる 優しいひと
- ほ ほがらか 明るく 夢を語るひと

児童・生徒数(令和3年5月1日現在)

単位:人

一 小	二 小	三 小	四 小	五 小	小学校計	瑞 中	二 中	中学校計	小・中学校合計
379	249	290	368	221	1,507	426	319	745	2,252

4月12日、スクールガードリーダー委嘱式を
 挙行しました。スクールガードリーダーとは、防
 犯の専門家として警察官OBの方に瑞穂町教育委
 員会が委嘱するボランティアで、瑞穂町立小学校
 に各1名ずつ配置されました（初年度は瑞穂第四
 小学校を除く）。

学校や通学路における事件・事故（不審者、交
 通事故）が大きな問題となっている近年の状況
 を踏まえ、子どもたちが安心して教育を受けら
 れるよう、学校や通学路の安全確保を図るため
 に見守り活動を行っていきます。



スクールガードリーダー委嘱式の様子
 前列左右各2名がスクールガードリーダーの方々です。
 （前列中央は教育長、後列は教育委員会、小学校の副校長先生方です）

登下校等の安全体制が強化

スクールガードリーダーによる
 見守り活動がスタートしました



【問合せ】教育指導課指導係 ☎557-6694

令和3年度 小・中学校校内研究主題

学校名	校内研究主題
一小	正確に理解し主体的に読むことができる児童の育成 ～ICTを活用した読みの目的が明確な授業づくり～
二小	自らの考えをもち、意欲的に学ぶ児童の育成 ～ICT機器を効果的に活用した授業の工夫～
三小	学力向上を図るためのICTを効果的に活用した授業づくり
四小	確かな読みの力を育てる指導の工夫 ～ICTの活用を含めた文学的な文章の学習を通して～
五小	しっかりと自分の考えをもち、表現できる子供の育成 ～ICTを活用した国語科授業をデザインする～
瑞中	GIGAスクール構想元年の授業改善の取組 ～生徒一人1台端末の利活用した新しい授業の展開と反転授業の実践に向けて～
二中	カリキュラム・マネジメントの視点による教育活動の改善 ～ICTを用いて、生徒の学習意欲を高め、学力の向上を図る～

【問合せ】教育指導課指導係 ☎557-6694

令和3年度の主な学校教育の施策について

町教育委員会では、第2次瑞穂町教育基本計画に基づき、児童・生徒の「生きる力」を育むため、学力向上施策やふるさと学習「みずほ学」のほか、様々な教育施策を学校とともに展開していきます。新型コロナウイルス感染防止のため、実施形態が変更になる可能性もありますが、ご協力よろしくお願いします。

○学習サポーターの配置

小学校入学段階で児童の規範意識の醸成や学習習慣の確立を図ります

小学校第1学年・第2学年の全学級等に「学習サポーター」を配置し、児童が小学校で学ぶ上で必要な力を身に付けるための支援をします。この学習サポーター制度は瑞穂町が続けている特徴ある取組です。自分で行えることは自分でしっかりとできるようにするため、生きる力の基礎を担任の先生と学習サポーターが協力して育てていきます。

○地域学校協働活動・放課後学習「学びのテーマパーク」

地域の方々と連携した放課後学習を実施します

全小・中学校で、家庭学習の一部を放課後の学校内（年間35回）で取り組み、児童・生徒の学習習慣の確立を通し、学力の向上を目指します。対象は、原則小学校4年生以上と中学校1・2年生としています。

目標は、「1日1時間授業以外の学習に取り組む」習慣を身に付けることです。そのために、「学びのテーマパーク」以外の時にも、携帯電話・スマートフォンの長時間使用を抑制する「みずほストップ22・SNS東京ルール」に取り組むことや、家庭学習に取り組んでいるときに携帯電話・スマートフォンを見ながら学習しないことが大切です。

また、中学校3年生は部活動が終わる8月頃から、進学に特化した講座を開設する予定です。詳細は、学校を通し、中学校3年生の生徒に配布してお知らせします。

○ふるさと学習「みずほ学」の推進

瑞穂の郷土愛に根差した、瑞穂の未来を「そうぞう」する教育

平成29年度から全小・中学校で、児童・生徒が夢や希望をもって学習するため、瑞穂町に関するふるさと学習「みずほ学」に取り組んでいます。総合的な学習の時間などあらゆる教科等を通して学び、自然や文化を愛し、未来について考えをもって社会に貢献できる児童・生徒を育成します。



○漢字・英語検定

漢字検定は小学校第3・5学年児童、英語検定は中学校第2学年生徒を対象に実施します。

○長期欠席児童・生徒への支援の充実

教育相談室専任相談員が家庭訪問し、心理的なケア等を行います。

適応指導教室「いぶき」で、オンライン学習支援を実施し家庭に支援を結びます。

○日本語指導の充実

外国人等、児童・生徒に対して専門の指導員を学校に派遣し、別室にて日本語指導を行い、言語による壁をなくし、安心して学校生活を送れるようにします。

○GIGAスクール構想及びウィズコロナの実践（1ページ参照）

○登下校時の安全対策の充実（2ページ参照）

【問合せ】 教育指導課指導係 ☎557-6694

瑞穂町図書館の改修工事について

瑞穂町図書館改修工事が始まっています。この改修工事では図書館中央部及び北側に新棟を増築するとともに、既存図書館の一部を解体し、テラスを新設します。またエレベーター設置を含めたバリアフリーやユニバーサルデザインへの配慮も行います。

改修工事期間中は、瑞穂ビューパーク・スカイホール2階に瑞穂町図書館臨時図書室を開設していますので、ぜひご利用ください。

【問合せ】 図書館 ☎557-5614



小・中学校の紹介

瑞穂第一小学校



校長 石坂 隆文



副校長 市川 利幸

教育目標

- 気づき考え、工夫する子
- なかよく力を合わせやりぬく子
- あかるく じょうぶな子

令和3年度、瑞穂第一小学校は、新1年生57名を迎え、全校児童378名で元気にスタートしました。今年度も「児童が、笑顔で生き生きと過ごすことができる安心・安全な学校」を目指し、教職員一同一丸となって教育活動の充実に努めてまいります。また、今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、児童が校内外で活躍できる場をたくさん設定してまいります。保護者・地域の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

瑞穂第二小学校



校長 松山 大作



副校長 榎戸 記宏

教育目標

- 進んで学ぶ子
- 思いやりのある子
- 健康で明るい子

学校の主人公は「子供」です。すべての教育活動は、子供たちの健やかな成長と幸福のためにあります。本校では、子供たちの無限の可能性を信じ、その力を最大限に引き出すための努力をして参ります。「教育」とは、共に学び、共に成長する「共育」であり、学校と家庭と地域とが、子供たちの未来のために、協力し合って進みゆく「協育」です。皆様と手を取り合い、コロナ禍という難局を乗り越えていきたいと思っております。すべては子供たちの未来のために！

瑞穂第三小学校



校長 関根 孝之



副校長 太田 誠

教育目標

- 進んで学ぶ子ども
- 思いやりのある子ども
- 明るく健康な子ども

「夢と希望にあふれ未来を築く三小の子」を掲げ全校児童290名で元気にスタートしました。今年は児童一人一台配備されたタブレットを効果的に活用し児童の「学力向上」を実現するよう励みます。さらにコロナ禍でも教育の質の低下や機会の減少を防ぎ児童の充実した学校生活を確保するよう、教職員一人一人が能力、資質、個性をおしみなく発揮していきます。保護者の皆様、地域・関係者の皆様には、今年度もご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

瑞穂第四小学校



校長 高橋 一広



副校長 嶋田 豊

教育目標

- しっかり考える子
- 仲よくする子
- すすんで取り組む子

全校児童368名、12学級で新年度の教育活動がスタートしました。誰もが幸せになるために「人とかわかっていく中で心を通わせ、お互いを思いやること」「『～したい』という夢や希望をもち、それに向かって挑戦していくこと」「夢の実現のためには、全ての人に感謝の気持ちをもつこと」が大切です。今年度は「心・夢・感謝」を合言葉に、「心通わせ、夢を育み、感謝あふれる学校」を目指します。皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

瑞穂第五小学校



校長 南方 孝之



副校長 藤森 慎一

教育目標

- 自ら学ぶ子 (知・体)
- 思いやりのある子 (徳)
- 最後までやりぬく子 (知・徳・体)

全校児童221名、一学級増の9学級でスタートしました。「元気いっぱい 笑顔あふれる みんなの学校」をスローガンに、確かな学力の定着と豊かな心の育成を目指します。コロナ禍ではありますが、恵まれた自然環境を生かした「みずほ学」を推進し、持続可能な未来や社会の構築のために行動できる人格形成を図ります。「迅速・丁寧・誠意」をモットーに学校経営を行いますので、保護者・地域の皆様のご支援・ご協力を、よろしくお願いいたします。

● 各校の所在地 ●

学校名	住所・電話番号
瑞穂第一小学校	瑞穂町大字箱根ヶ崎2287 ☎557-0045
瑞穂第二小学校	瑞穂町大字長岡長谷部250 ☎557-0646
瑞穂第三小学校	瑞穂町大字二本木670 ☎557-0266
瑞穂第四小学校	瑞穂町箱根ヶ崎西松原2-1 ☎557-4143
瑞穂第五小学校	瑞穂町大字殿ヶ谷1160 ☎556-1377
瑞穂中学校	瑞穂町大字石畑1961-1 ☎557-0070
瑞穂第二中学校	瑞穂町大字箱根ヶ崎1172 ☎557-5501

瑞穂中学校



校長 池谷 芳彦



副校長 中村 祐子

教育目標

- 心身ともに健やかな中学生
～持続可能な社会の形成者の育成を目指して～
- 自学 (自ら学ぶ)
 - 忠恕 (思いやる心)
 - 正義 (正しい行動)

経営方針の中心に文武両道をすえ、「わかる喜び・できる実感・学ぶ楽しさ」をモットーに生徒の学力向上を図ります。本校の教育目標である心身ともに健やかな中学生を目指しながら、持続可能な社会の形成者となれるよう、校訓として自学・忠恕・正義を掲げています。また、防災教育を取り入れ、ふるさと学習「みずほ学」を推進します。全教職員で協力し合うチーム瑞中として、ICT機器も有効活用していきます。ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

瑞穂第二中学校



校長 吉田 周平



副校長 町井 豊

教育目標

- よりよい生き方を求め、自立と社会性の育成を目指す
- 自ら考え判断し 学び合う中学生 (知)
 - 自他を大切に 心豊かな中学生 (徳)
 - 何事にも挑戦し 努力する中学生 (体)

本年度、103名の新入生を迎え、全校生徒319人で瑞穂第二中学校は元気にスタートしました。生徒たちが生き生きと輝く、安全で安心できる学び舎となるように、多様な生徒たちを誰一人取り残すことのない個別最適な学びの実現や、その学びを支える教育活動を全教職員一丸となって展開してまいります。新型コロナウイルス感染症の影響も考慮した学校運営となりますが、保護者、地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

第4回 瑞穂町図書館を使った調べる学習コンクールのお知らせ

瑞穂町図書館では、自ら課題を見つけ、図書館資料を有効に使って調べ、作品としてまとめることで課題解決力を育成し、図書館の利用価値を学ぶことを目的に、「第4回 瑞穂町図書館を使った調べる学習コンクール」を実施します。

作品の募集期間は9月1日から9月30日までとなり、学校を通じての応募や個人での応募も受け付けます。

令和2年度は小学生の部354作品、中学生の部100作品、高校生の部4作品、一般の部2作品の合計460作品の応募をいただきました。

今年度も、皆様からのご応募をお待ちしています。詳細は瑞穂町図書館ホームページ等でご確認ください。

<https://www.library.mizuho.tokyo.jp/>



【問合せ】図書館 ☎557-5614

瑞穂町の図書館をみんなで考え・活用するワークショップ

令和4年3月末にリニューアルオープン予定の瑞穂町図書館の使い方、活用方法を、ワークショップを通じてみんなで一緒に考えてみませんか。ワークショップの内容は今後の図書館運営にもつなげていきます。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえ、オンラインでの開催に変更する場合があります。変更の場合は事前にご連絡します。

日時：第1回 令和3年6月5日(土) 13時30分～16時30分
 第2回 令和3年9月4日(土) 13時30分～16時30分
 第3回 令和4年1月22日(土) 13時30分～16時30分

場所：瑞穂町ふれあいセンター大会議室2、大会議室3

定員：各回40人(申込先着順)

申込方法：①電話：042-557-5614

②Eメール：toshokan@town.mizuho.tokyo.jp

※Eメールの場合は件名を「〇月〇日ワークショップ申込み」とし、本文に参加者全員のお名前と電話番号を明記してください。



【問合せ】図書館 ☎557-5614

第2次瑞穂町生涯学習推進計画を策定しました

1 計画の目的

町民の誰もが、生涯のいつでも、自由に学習する機会を選択して学ぶことができ、その成果を適切に生かすことのできる「生涯学習社会」の実現を目指すものです。

2 基本理念及び期間

第5次瑞穂町長期総合計画を上位計画とし、基本目標の一つである「豊かなこころを育むまち」を具体化するために策定する個別計画です。

生涯学習を推進するために、学校教育、スポーツ、読書、保健福祉など、町の各分野における個別計画との整合を図りました。また改修後の図書館事業を生涯学習として推進する新たな柱と位置付けました。

第5次長期総合計画と計画期間の整合性を図るため、期間は令和3年度から令和12年度までの10年間としました。

3 事業計画の構成

第1章 生涯学習の背景と取組

第2章 計画の基本的な考え方

第3章 生涯学習推進施策の体系

第4章 生涯学習推進施策の方向性

【基本方針】

1 あらゆる年齢における学びあい

2 生涯学習の場と機会の提供

3 自主的な学習活動への支援

4 生涯学習に寄与する図書館の利活用

5 生涯学習推進体制の整備・評価

第5章 生涯学習推進への具体的施策
資料

※詳しくは瑞穂町教育委員会ホームページをご覧ください。

【問合せ】社会教育課社会教育係 ☎557-6695

瑞穂町郷土資料館 けやき館

【問合せ】 ☎568-0634

企画展「身近な昆虫、ここが面白い！」

4月10日から6月20日まで、企画展「身近な昆虫、ここが面白い！」を開催しています。昨年の「みずほの蝶」展に続き、今年も町内の自然・生き物をテーマにした展示を企画しました。

瑞穂町自然科学同好会の調査によれば、町内には1,618種もの昆虫が生息しているそうです。今回の展示では、同会の協力を得て、面白くて不思議な生態を持つ昆虫にスポットを当てながら、パネル・写真・標本などで、身近にいる昆虫たちの知られざる一面を幅広く紹介しています。

また、昔懐かしい学習帳の表紙を飾った昆虫写真や、細密に描かれた昆虫の絵本原画、そしてタマムシなどを入れた「昆虫の宝石箱」を会場中心に展示しています。皆様のご来館をお待ちしています。



耕心館

【問合せ】 ☎568-1505

みずほ山野草ウィーク内企画展 染工房シゲタ草木染展 もの申すそめ布 一暮らしを彩る染めもの一

山野草と自然を満喫する春のイベント山野草ウィーク開催に合わせて、企画展「染工房シゲタ草木染展」を3月20日から4月26日まで開催しました。繁田さんによる草木染の作品展は今回で5回目となりますが、毎年柔らかく暖かい作品を繁田さん独特の展示法で展示しています。繁田さんの染工房は築100年近い古民家です。染料は自家栽培の藍などの植物や、近隣の野山の植物を採取し、天然の柿渋・墨等も使用します。図柄は型染が中心で、防染糊（ぼうせんのりもち粉・ぬかを蒸したもの）が置かれた布に染料を何十回と、風にさらしながら刷毛で引き重ねる伝統的な染法です。自然の恵みから出た色は柔らかく、美しい色です。時間が経つと一層味わい深い色となります。これらの作品は伝統的な手法を用いながら、現代の暮らしを彩る、人が自然から学び、生活を楽しむ、豊かにする『染めものたち』です。耕心館を訪れたお客様は天井からつるされた大きなのぼりやのれんの暖かく染められた絵に「ほっ」とする時間を楽しんでいました。また、会期中、繁田さん夫妻に講師をお願いし、型紙作りや型染の手ぬぐい作りのワークショップも開催しました。参加者の皆さん、ありがとうございました。



～ 瑞穂町にある文化財めぐり 第25回 ～

とのが やじゅうま ばやし
殿ヶ谷重松囃子 (瑞穂町登録無形民俗文化財) <所在地 瑞穂町殿ヶ谷>

瑞穂町登録文化財の2例目・殿ヶ谷重松囃子を紹介します。

江戸末期から明治初期、所沢の古谷重松より直接伝授されたと言われていました。明治期には他地域へ出向くなど盛んでしたが、戦争中一時中断されました。昭和21年(1946)4月、青年達が地元の井上定吉氏より教わり殿ヶ谷囃子連が再興されました。その後、須賀神社例大祭(三地区合同夏祭り)や町イベント等に積極的に参加し、自慢の技を披露しています。

最近の課題は、後継者不足です。どうか皆さん、地元の囃子に参加してください。



殿ヶ谷の囃子「人波」を披露中

【問合せ】 けやき館 ☎568-0634

委員の紹介（社会教育委員）

社会教育委員は、社会教育に関し教育委員会に助言するため、諸計画の立案、教育委員会の諮問に対する意見、職務上必要な調査・研究等を行っています。

(敬称略)

氏名	備考	氏名	備考	氏名	備考	氏名	備考
池谷 芳彦	再任	石井 正次	再任	吉良 明美	再任	笹井 鎮彦	再任
志村 武保	再任	谷 和彦	新任	中沢 清	再任	西村 元	新任
牧野 壽義	再任	町田 恵子	再任				

【問合せ】社会教育課社会教育係 ☎557-6695

教育委員会委員談話

第24回：瑞穂町教育委員会 委員 村上 豊子

今が楽しくないと言う君。授業中は勿論、友達と過ごす休み時間や給食・放課後までもが感染を気にして過ごす時間になってしまった。元通りに過ごせるのは何時になるのかイライラする。

そうだね。大人だってそうだ。

それでも、こんな状況でも君に楽しく学んで欲しいから、今までと違うやり方で工夫する。例えばタブレットを活用した授業。でもね、今までやった事が無いものをいきなり完全に上手くやるのは無理なんだ。試行錯誤しながら君が楽しく学ぶ方法を考え続けるしかない。だから君に協力して欲しい。楽しく学ぶ為に

自分に出来る事って何なのか考えて欲しい、伝えて欲しいんだ。

誰かに言われて何かをするよりも、少しでも自分で考えて行動するほうがより充実感があるんじゃないかな。たとえ最初は上手くいなくても工夫を続ければそれは失敗じゃなくて成功に向かう経験になるよ。

だから大人は君の話ちゃんと聴かなきゃならんし、君の経験を大事にしなくっちゃならんね。応援しているよ。



教育委員会定例会・臨時会報告

前号でお知らせした以降、1月から4月まで定例会を4回、臨時会を2回開催しました。

<主な議案>

- ・瑞穂町教育相談室設置規則の一部を改正する規則
- ・瑞穂町スクールガードリーダー実施要綱を制定する告示
- ・瑞穂町適応指導教室要綱の一部を改正する告示
- ・瑞穂町立小中学校の管理職の任命に関する内申について
- ・第2次瑞穂町生涯学習推進計画の策定について
- ・瑞穂町登録無形民俗文化財の登録について
- ・令和3年度瑞穂町立学校教育課程編成について
- ・瑞穂町図書館協議会委員の委嘱について
- ・瑞穂町いじめ問題調査委員会委員の委嘱について
- ・瑞穂町教育相談室専任相談員の任命について

<主な協議事項>

- ・瑞穂町教育委員会の教育目標、基本方針及び令和3年度主要施策（案）について

<主な報告事項>

- ・瑞穂町学校施設長寿命化計画（案）について
- ・瑞穂町教育委員会事務局職員の人事異動について
- ・瑞穂町立学校の行事等保護者負担軽減補助金交付要綱第10条の規定に基づく補助額の特例の制定について
- ・令和2年度瑞穂町教育委員会後援名義について
- ・令和3年度使用中学校特別支援学級教科用図書採択について

教育委員会の会議は、毎月1回（原則として、第4木曜日）開催し、傍聴することができます（非公開の事項を除く）。

開催日時および会場は広報みずほに掲載されます。また、瑞穂町教育委員会ホームページから開催内容や過去の会議録を見ることができます。

【問合せ】学校教育課庶務係 ☎557-6682

本紙に掲載している情報は、令和3年5月19日時点のものです。新型コロナウイルスの影響により、イベント等の予定が中止・変更となる場合があります。最新情報は、町ホームページなどをご覧ください。